



19年度、金融広報中央委員会はここに力を入れています！

今、伝えたいこと

—生きる力を「知るぽると」から—

私たちの暮らしを取り巻く金融環境をみると、さまざまな金融商品があふれています。安全性の高い金融商品だけでなく、リスクを伴うものも数多く存在します。そのような金融商品は身近で多様なチャネルを通じて販売されるようになり、便利になった一方で、金融商品の契約を巡るトラブルなども増加しています。

また、携帯電話やインターネットの普及に伴って、若年層を巻き込みながら金融トラブルが増加していることや、多重債務問題などに対する社会の意識も高まっています。

このような社会環境の中で、子どもたちがたくましく生きていくための金融教育の必要性が広く認識されはじめています。

当委員会は、長年にわたり中立・公正な立場から、金融や経済に関する基本的な情報の提供や学習の支援を行ってきました。金融環境の変化とともに、当委員会の広報活動に対するニーズも、より高度で専門的な情報を求める声や信頼度が高く良質な基本的情報を求める声徐徐に増えている一方、金融に関心の低い方々がまだまだ多いのが現実です。

今年、力を入れること

—二つの力点—

そこで当委員会では、これからの社会をより良く生きていくための合理的な選択の基礎となる金融情報や考え方を、金融への関心の低い方々も含めて、幅広く伝えるために、平成十九年度は「基本を多くのの人に伝える」ことをテーマに掲げました。

このテーマのもと、本年度は学校向け、一般向けそれぞれに、次のことに取り組む方針です。

まず、学校向けでは『金融教育プログラム』の普及・浸透を目指します。『金融教育プログラム』とは、学校における金融教育のあり方や、より効果的にこれを進めるための指導計画例をまとめたものです。

このプログラムを普及させるため、全国の小学校・中学校・高校などに同冊子を追加送付することや、都道府県教育委員会などへの訪問説明を行います。またプログラムに即した教員対象セミナー・研修などの開催や、教科別研究会などへの協力要請を行うほか、金融教育研究校などによりこのプログラムを参考にした授業実践を推奨していきます。

新たな教材や資料の作成において

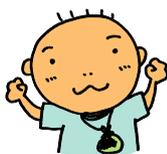
も、プログラムの内容をふまえたものを目指します。また保護者・地域の方々も対象とした金融教育公開授業も全国で引き続き開催します。

次に、広く一般の方々へ向けた活動の方針として、金融に関する興味・関心を持っていただくために対象層の拡大に向けた工夫を図っていきます。本年度も「金融教育フェスティバル」を継続開催すると共に、情報発信においては、テレビ放送も含めたマスメディアの積極的な活用を計画しております。

また新たに広報誌『くらし塾きんゆう塾』を発行します。さらに通信講座『くらしに身近な金融講座』では、テキストをよりわかりやすく見直した上で本年度も受講者（五千名）を募集するなど、より多くの方が金融について学ぶきっかけを提供したいと考えています。

基本的な金融知識を身につけることは、より良い暮らしを実現するための小さな一歩かもしれませんが、それがひとりひとりの生きる力の形成につながるものと私どもは考えております。

「知るぽると」で、基本的なことをまずは「知る」ことから始めましょう。



<http://www.shiruporuto.jp/>

日本銀行情報サービス局内に事務局をおく「金融広報中央委員会（知るぽると）」は、中立・公正な立場から金融経済情報の提供と金融経済学習の支援を行っています。知るぽるとの「ぽると」とは「入口」や「港」という意味があります。是非、身近な金融知識を知るために、知るぽるとのホームページにアクセスしてください！

19年度の主な重点活動内容

金融教育公開授業

全国各地の幼稚園、小・中・高校で金融教育公開授業を開催しています。授業では『金融教育プログラム』を参考に、講義だけでなく、ロールプレイングなどを含む参加型の授業を行い、学校が目指す「生きる力」の育成につながる金融教育の普及に努めています。本年度は全国36校をリレーする予定です。



公開授業「カレー作りゲームに挑戦しよう」の様様。



能力育成に必要な3つの要素
『金融教育プログラム』(P28)より



小学1年生の生活科の授業の様様。



特産品の値段についての授業の様様。



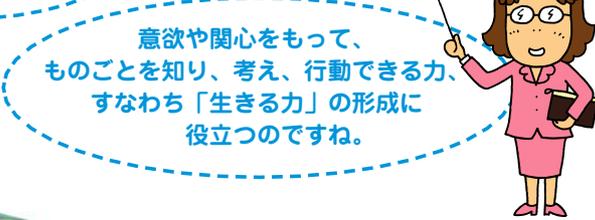
商品の製造・販売についてのロールプレイング。

金融教育プログラムの普及・浸透

『金融教育プログラム』は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、おかねを大切に扱う態度を身につけることなどを目的としています。



金融教育によって、子どもにはどんな力がつくのかな？



意欲や関心をもって、ものごとを知り、考え、行動できる力、すなわち「生きる力」の形成に役立つのですね。

くらしに身近な金融講座

金融広報中央委員会と都道府県金融広報委員会では、暮らしに役立つ金融経済の知識を中立・公正な立場から解説し、健全で合理的な家計運営や生活設計のお役に立てるよう、初心者を対象にした通信講座『くらしに身近な金融講座』を本年度も開講いたします。受講料は無料です。



その他、わかりやすいパンフレットも提供しています。



平成18年度活動を振り返って——関連団体間の連携による広報の成果

平成18年度は、「金融教育元年」事業を通じて培った前年度の実績を引継ぎ、「みんなで作る金融教育」を活動テーマとして、特に学校教育関連分野に力を入れました。こうした分野のノウハウ蓄積や支援のため、当委員会事務局内に「金融教育プラザ」を設置したほか、全国規模の意識調査結果の公表なども行いました。

一方、一般向け広報活動においても関連団体の協力のもと、「全国キャラバン金融講座」の開催、各地委員会が主催する講演会や講座・講習会の支援などを通じて金融知識の普及に貢献、「金融学習ナビゲーター」もリニューアルを行いました。本年度も18年度同様、金融についての広報活動に力を入れていきます！